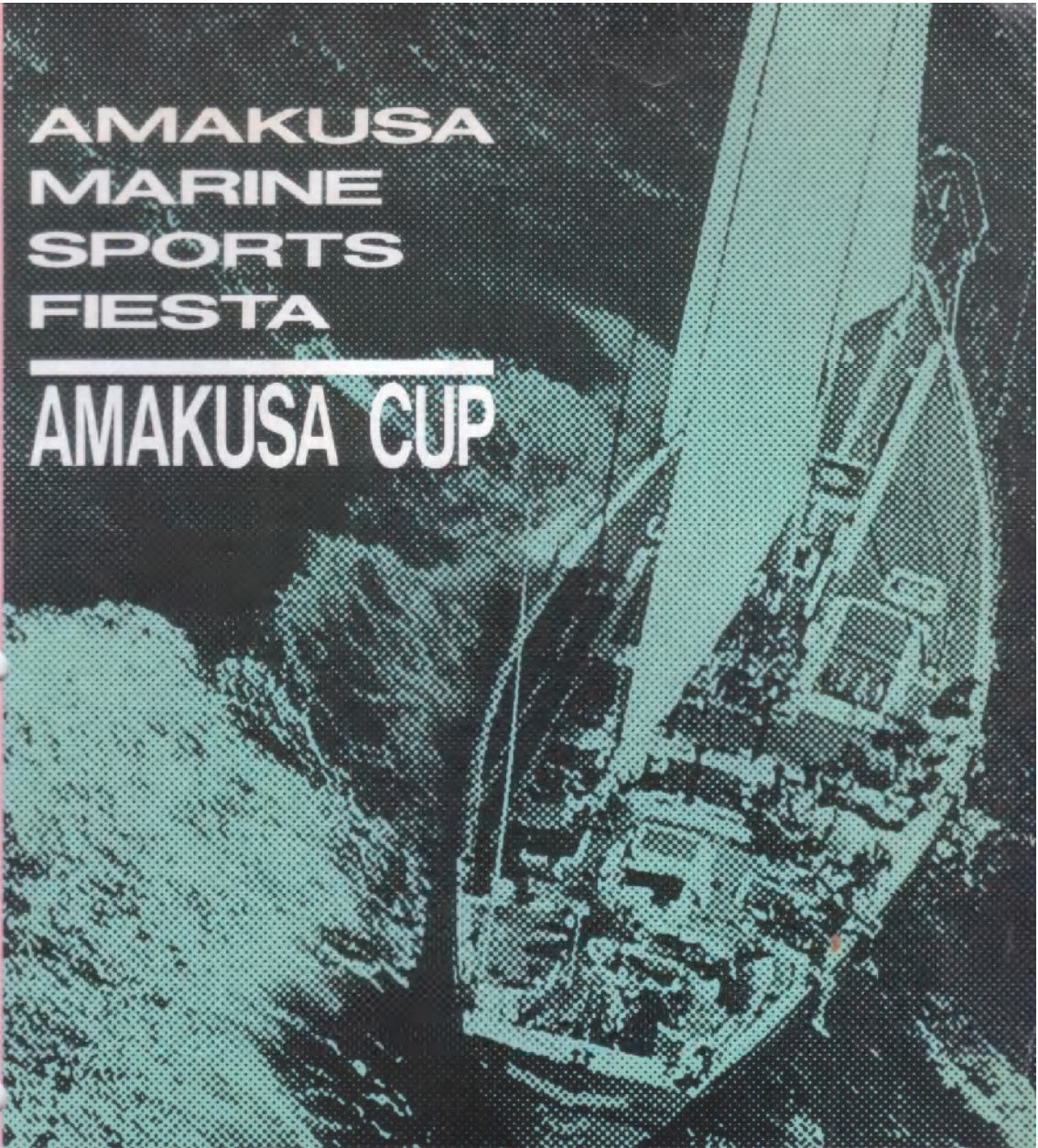


天
草
マ
リ
ン
ス
ポ
ー
ツ
フ
ェ
ス
タ

AMAKUSA
MARINE
SPORTS
FIESTA

AMAKUSA CUP



天
草
カ
ッ
プ



天草マリンスポーツフェスタ 天草カップ

ごあいさつ



大会名誉会長
熊本県知事
細川 護照



大会会長
本渡市長
久々山 義人

若者の間で非常に人気のあるクルーザーレースとボードセーリングレースが、天草のすばらしい海の祭典として、開催できることを大変嬉しく存じます。この天草マリンスポーツフェスタ“天草カップ”は、本年が雲仙天草国立公園天草地区指定30周年、天草五橋開通20周年という意義深い年であることを記念し、21世紀に向けて魅力ある新天草を創造するために企画されたイベントでありますので、多数の方々の参加をお待ちしております。

近年、余暇時間を有効に使って、スポーツを楽しむ傾向が一段と強くなっており、特に、一刻一刻と表情を変える波と風を相手とするクルージングあるいはボードセーリングは、まさに自然と対する興奮と醍醐味が味わえるということで最近急速に人気を博しているスポーツであります。幸い天草は、周囲を海に囲まれた温暖な気候で、マリンスポーツを楽しむには、非常に恵まれた環境にあります。参加選手の皆様にあつては、日ごろの鍛錬の成果をいかに発揮され、そのエキサイティングなプレーは、きっと観衆を魅了することでしょう。

本大会の開催にあたり、尽力いただきました関係者の方々に敬意を表しますとともに、参加選手のご健闘をお祈りいたします。

青い空、藍の海、そして島の緑に囲まれた天草島は、いま燃えるような太陽と南風さわやかな夏を迎えています。

選手、役員の方々と、並びにご声援の方々が天草へようこそおいで下さいました。皆さまのご来島を島民あげて心から観迎申し上げます。

天草国立公園指定30周年、天草五橋開通20周年を記念して、西日本では最大級のマリニイベントである天草マリンスポーツフェスタ“天草カップ”が関係各位のご支援、ご協力により開催される運びになりましたことは私の最も喜びとするところでございます。

近年、四面を海に囲まれた天草にもマリンスポーツが非常に勢いで普及してまいりましたが、本市における初めての大規模なレースであり、今後の天草マリンスポーツの発展に大きく貢献する大会となることを期待するものでございます。

全国各地から海を愛し、海に親しむ皆さんの選手の皆さまにご出場いただきますが、雲仙天草国立公園の美しい景観のもと、日ごろからの錬磨の成果を遺憾なく発揮いただき、無事故のうちに、しかも盛会裏に終了し、本大会が将来に向けてなお一層発展しますことを希望してやみません。

大会の実施にあたり、関係各機関のご援助、ご協力に対し深甚なる感謝の意を表し、参加される選手の皆様方のご健闘を心からお祈りしてごあいさついたします。

天草マリンスポーツフェスタ
天草カップ

AMAKUSA MARINE SPORTS FIESTA

AMAKUSA CUP



- ▼主催 天草国立公園指定30周年・天草五橋開通20周年記念事業実行委員会
- ▼共催 本渡市
- ▼主管 本渡ヨット協会/JBSA天草フリート
- ▼後援 本渡市教育委員会/本渡市体育協会/本渡商工会議所
本渡観光協会/熊本ヨットクラブ/八代ヨットクラブ
JBSA熊本フリート/JBSA八代フリート
本渡市漁業協同組合/佐伊津漁業協同組合
五和町漁業協同組合/有明町漁業協同組合
上津浦漁業協同組合/島子漁業協同組合
- ▼協賛 全日空/CREEKS SHOP-PASSPORT/AG
- ▼企画運営 天草マリンスポーツフェスタ実行委員会
株式会社 エスピーエヌ
- ▼お問い合わせ先 記念事業事務局 Tel.0969-23-7639



大会役員

大会名誉会長	細川護熙		
大会会長	久々山義人		
大会副会長	西村武典	吉田義泰	吉田茂
	松岡勝一	角野信男	
顧問	金子康男	横山寛人	
参	松下照雄	永野栄吉	横山隆弘
	和田欣幸	田尻 肇	清田 円
	徳永康則	大石史郎	八木 敏
	永芳黎一	布井清毅	磯 和子
	里 一敏	下門大二	中山 要
	井上重利	福島 凉	中野孝一
	三角商治	洲崎 力	吉谷 義徳
	新田昭男	松下重康	豊内 繁造
	浜丸夫	宮下重秋	松本正武
	山本保実	渡辺美秋	田中 典明
	浜本 博	中西 敏男	菅原 建一
	津田安俊	鶴田作雄	
実行委員	宗像文雄	井上日出夫	吉野隆三
	渡辺利一	亀井重樹	岡部利康
	森 康茂	堀田英史	松下 浩
	大崎 絹子	久保田正成	船田次雄
	谷口幹人	西 利信	楳本幸一郎
	黒川幸二郎	長川末喜	

競技役員

競技委員長	木下哲男		
クルーザー部長	山下一友		
クルーザー海上係	坪田幸雄	野島照儀	金子俊博
	園田長男	堀田建吾	
クルーザー審判係	木下哲男	高岡晃廣	浜坂 浩
	島崎洋一		
ボードセイリング部長	森下五夫		
ボードセイリング陸上係	赤松貞悟	渡辺富士子	倉田登美
	堤田和美	井上幸子	平田はるみ
	淀川紀久子	池田康広	若松和恵
	平山美和	兼本佳枝	
ボードセイリング海上係	本田国男	松下範幸	川島直美
	吉鶴君朋	丸田光二	石川由美子
	森下五夫	山下幹生	松原雄二
ボードセイリング審判係	谷口正明	吉岡周治	鳥羽瀬博文
総務係	明瀬 力	前田宗儀	山田 康人
	田口ひろ子	池田武史	
報導係	原田義雄	嶺 力	中村 孝
	山本孝夫	宮下一成	
クルーザー会場設営	長島 力	山下一友	
ボードセイリング会場設営	永野幸信	北内正行	宮崎政勝
	藤田浩一	喜多秀雄	
ボードセイリング交通係	北内 清	浜 宏	山田広見
	野田一記	吉田哲夫	江崎景造
	池田正光		
観覧船係	渡辺義森	森下洋一	
宿泊係	山下洋右	村田清志	

CREATIVE STAFF

PRODUCER SPN CO., LTD.
PUBLISHED BY FIRST PUBLICITY CO., LTD.

AMAKUSA MARINE SPORTS FIESTA AMAKUSA CUP

大会実施要項



主旨

天草国立公園指定30周年・天草五橋開通20周年を記念して、この天草マリンスポーツフェスタ“天草カップ”を開催します。雲仙天草国立公園の美しい景観のもと、家族そろって楽しめる素晴らしい海のお祭りにしたいと考えています。また、このマリンスポーツフェスタを開催することによって、天草マリンスポーツの振興に大きく貢献できることを願うものです。

1. 開催期日

昭和61年7月26日(出):天草ハイヤ祭り
昭和61年7月27日(日):クルーザー
ボードセイリング
表彰式・パーティ

2. レース海域

クルーザー 本渡港沖
ボードセイリング 本渡海水浴場沖

3. 競技種目

クルーザー
ボードセイリング

4. 参加資格

クルーザー 外洋レースに耐え得るクルーザー
ボードセイリング 自力で完走できる者

5. 参加費用

クルーザー、ボードセイリング共
★エントリー料1人3,000円(表彰式・パーティ料・保険料込み)
但しパーティのみの参加料は、1人1,000円とする。

6. 大会日程

7月26日(出)
9:00~17:30 クルーザー受付
記念事業事務局
住所 本渡市今釜新町浄水センター内
TEL. 0969-23-7639
18:00~19:00 クルーザー艇長会議
天草プラザホテル会議室
住所 本渡市栄町4-8 TEL. 0969-23-5511
19:30~
7月27日(日)
(クルーザー)
9:00 スタート
14:00 タイム・リミット
16:00~19:00 表彰式・パーティ(天草会館)
(ボードセイリング)
8:00~9:00 受付(本渡海水浴場陸上本部)
9:00~9:30 艇長会議(同上)
10:30 第1レース スタート
12:00 第1レース タイム・リミット
13:00 第2レース スタート
14:30 第2レース タイム・リミット
16:00~19:00 表彰式・パーティ(天草会館)

7. 賞

(クルーザー)
●総合1位~5位(トロフィー)
●ファーストホーム賞(トロフィー)
●特別賞 多数あり
(ボードセイリング)
●ウィンドサーファー・クラス 1~3位(トロフィー)
●オープン・クラス 1~3位(トロフィー)
●レディース・クラス 1~3位(トロフィー)
●特別賞 多数あり

8. 責任の所在

レース艇がスタートするか否か、レースを続行するか否かの決定は、参加各自の責任において行なわれなければならない。

9. 申し込み先とメ切、及び問い合わせ先

申し込みはクルーザー、ボードセイリングとも参加費用を添えて7月1日(火)~7月21日(月)まで、下記あて現金書留にてお申し込み下さい。

〒863 熊本県本渡市新釜新町浄水センター内

記念事業事務局内

天草マリンスポーツフェスタ大会事務局宛

TEL.0969-23-7639

10. 観覧船のご案内

レース観戦の希望者には、観覧船を用意致します。

希望者は記念事業事務局まで申し込むこと。(電話でもOK)

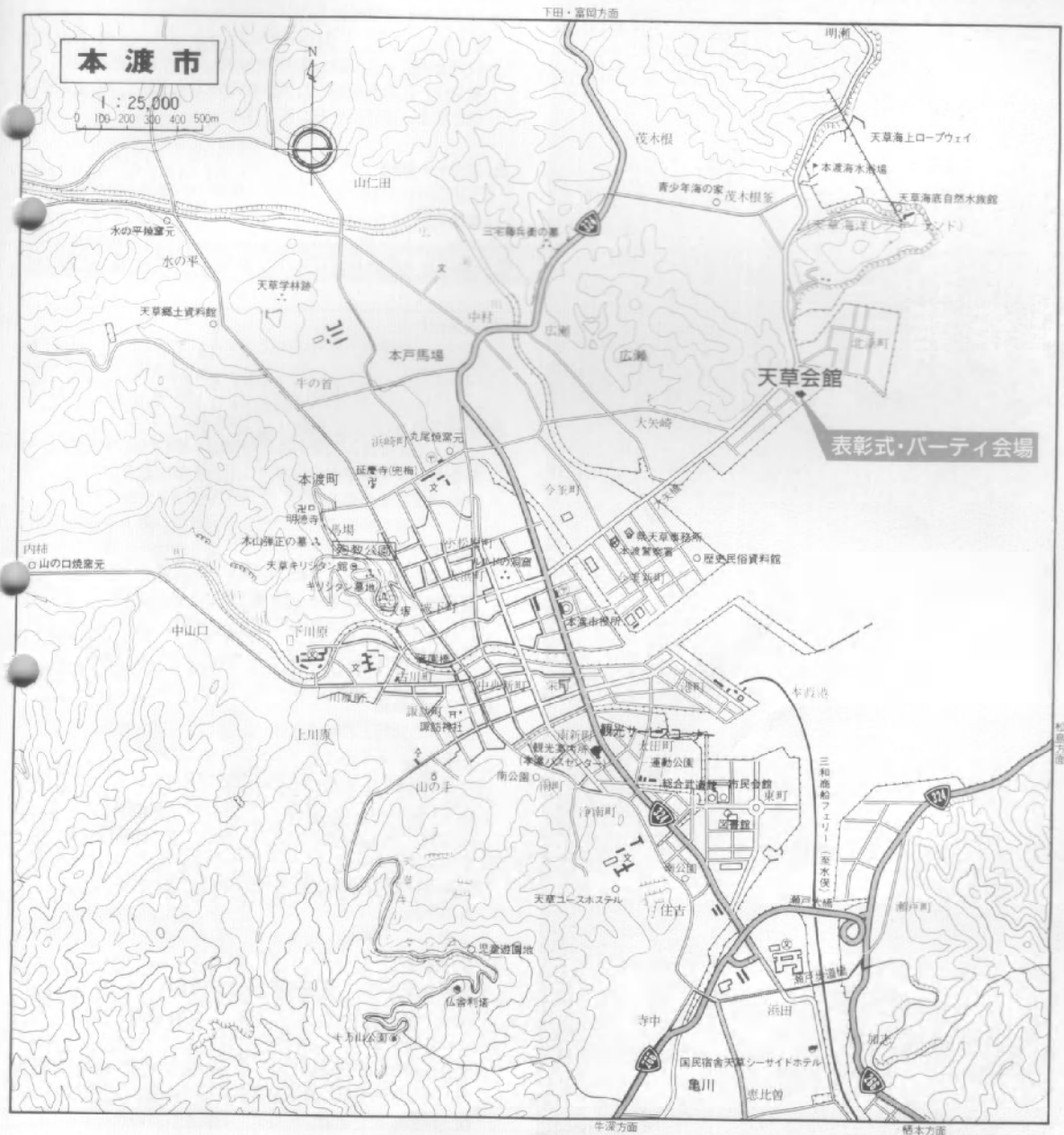
集合・本渡港棧橋 8:40

本渡港出発 8:45(予定)

本渡港帰港 12:00(予定)

表彰式・パーティ会場 案内図

天草会館 TEL 0969-23-7171



AMAKUSA MARINE SPORTS FIESTA AMAKUSA CUP

ボードセリング 帆走指示書



1. 適用規則

このレースは、1985-86国際ヨット競技規則、IWCAルール及びこの帆走指示書を適用する。なお、レース委員会はこの帆走指示書を変更することができる。

2. 日程及びスタート時刻

昭和61年7月27日 10:30 第1レース スタート
13:00 第2レース スタート

3. コース及びマーク

艇長会議にて発表される。

4. スタートライン

スタートラインは、フリート旗を掲揚した運営艇のマストと、黄色ブイの見通し線とする。スタートは、運営艇を右に見て行なう。

5. フィニッシュライン

フィニッシュラインは原則的に陸上フィニッシュとする。但し海上でフィニッシュする場合のフィニッシュラインは、天草フリート旗を掲揚した運営艇のマストと黄色ブイの見通し線とする。運営艇を右に見て行なう。

6. スタート信号

予告信号(10分前)……………黄色旗の掲揚と音響信号一声
準備信号(5分前)……………P旗掲揚と音響信号一声
スタート(1分前)……………音響信号一声
スタート信号……………P旗の降下と音響信号一声

7. スタート

スタート信号後、5分以内にスタートを行わない艇はDN Sとする。

8. リコール

リコール艇があった場合は、リコール旗(X旗)を掲揚し、音響信号一声を鳴らす。なお、リコール艇の通告はしない。復帰の責任はその艇にある。リコール旗は5分後に降下する。リコール艇が多数で判別できない場合は、第1予備旗を揚げ音響信号を連呼しゼネラルリコールをかける。再スタートは第1予備旗降下後1分後に準備信号のP旗を掲揚する。その後1分間ルールの適用とする。(図1参照・スタートの1分前からスタートまでの間に斜線のエリアに入った艇はただちに失格とする。)

9. コースの短縮

コースの短縮される場合は、本部船にS旗を展開し音響二声を発する。その場合は、トップ艇が次に回航しようとするマークを回航し、定められた方法でフィニッシュしなければならない。

10. タイムリミット

スタート信号時刻より1時間30分迄とし、トップフィニッシュより30分とする。

11. レース成立

本大会は、1レースをもって成立する。

12. レースの中止

競技委員会の裁量により、レースが中止された場合には、N旗を本部船に掲揚し音響信号をもって通告する。中止されたレースの再レースについては、競技委員会の決定による。

13. 抗議

抗議は一切認めない。

14. 規則違反に対する失格

720度回転の罰則は、規則74.5及び附則3の規定に従い第IV章の規則違反に対し適用される。

15. 安全

選手は離岸から着岸まで、ライフジャケットを着用しなければならない。但し、浮力のあるハーネスとウエットスーツ着用の場合のみライフジャケットの着用は免除される。

16. マナー

このレースにおいて大会の名譽および品位を著しく損なうような行為のある場合は大会の出場を停止させることがある。
①近隣の住民に対し、大会参加選手としてのマナーを守り、迷惑をかけないこと。

17. レース海面への立入禁止

フィニッシュした艇はただちにレース海面より離れなければならない。又、フィニッシュラインを再度横切ってはならない。

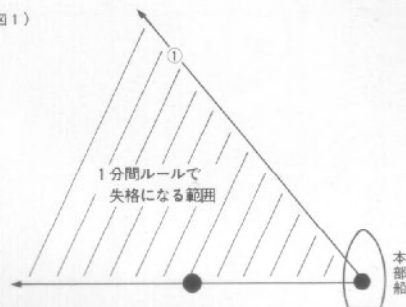
18. 得点

得点は順位といっしょとし、同点の場合は第1レースの成績の良い者を上位とする。

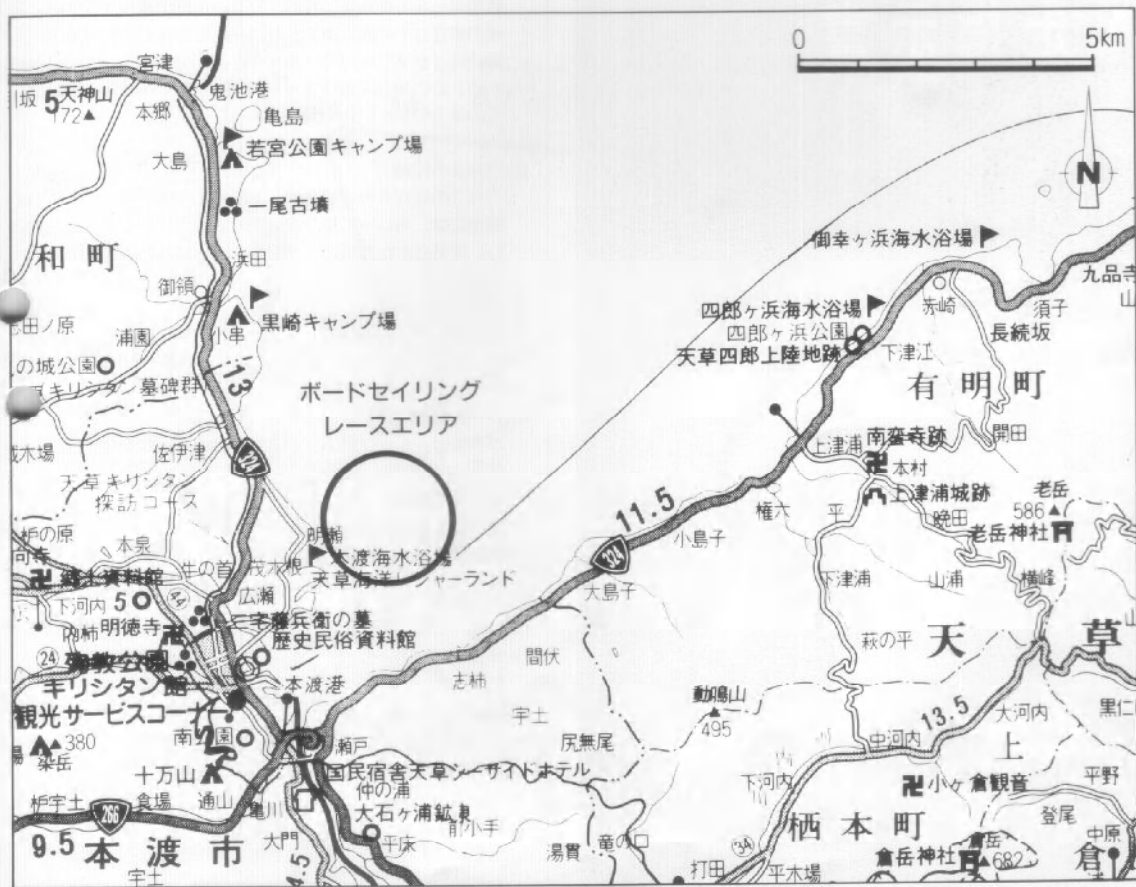
19. その他

- ①出艇申告は本渡海水浴場に設置する陸上本部にて行なう。
- ②出艇申告の受付は第1レースは午前9時30分～10時までとし、第2レースは12時～12時30分とする。帰着申告は各レース終了後30分以内とする。
- ③艇長会議は午前9時より午前9時30分とする。
- ④出艇申告のない出場艇、帰着申告のない艇は失格とする。
- ⑤参加料は返却致しません。
- ⑥セールNo.がない艇は主催者側で有料にて配布します。

(図1)



ボードセーリング レースエリア



AMAKUSA MARINE SPORTS FIESTA AMAKUSA CUP

クルーザー 帆走指示書



1. 適用規則

このレースは、1985-88国際ヨット競技規則、及びこの帆走指示書を適用する。なおレース委員会は、この帆走指示書を変更することができる。

2. 日程及びスタート時刻

昭和61年7月27日(日) 9:00 スタート

3. コース及びマーク

添付図に示すコースとする。

4. スタートライン

スタートラインは、本部船のマストと、アウトサイドマークの見通し線とする。スタートは、本部船を右に見て行なう。

5. フィニッシュライン

フィニッシュラインは、本部船とアウトサイドマークの間とし、本部船を右に見てフィニッシュする。

6. スタート信号

予備信号(10分前)……………本渡ヨット協会、協会旗の掲揚と音響信号一声

準備信号(5分前)……………P旗掲揚と音響信号一声

スタート信号……………本渡ヨット協会、協会旗とP旗の降下と音響信号一声

7. リコール

リコール艇があった場合は、リコール旗(X旗)を掲揚し、音響信号一声を鳴らす。なお、リコール艇の通告はしない。復帰の責任はその艇にある。リコール艇が多数で判別できない場合は、ゼネラルリコールをかける。再スタートは10分後とする。この場合は音響信号一声を第1予備旗を掲揚し、その後1分間ルールの適用とする。

8. コースの短縮

コースの短縮される場合は、本部船にS旗を展開する。その場合には、各レース艇が次に回航しようとするマークを回航し、定められた方法でフィニッシュしなければならない。

9. タイムリミット

タイムリミットは14時とする。なお、タイムリミット以内にフィニッシュしなかった艇はDNFとする。

10. レースの成立

本大会は、トップ艇のフィニッシュをもって成立する。

11. レースの中止

競技委員会の裁量により、レースが中止された場合には、N旗を本部船に掲揚し音響信号をもって通告する。中止されたレースの再レースについては、競技委員会の決定による。

12. 抗議

抗議は一切認めない。

13. 規則違反に対する失格に変わる罰則

720度回転の罰則は、規則74.5及び附則3の規定に従い第IV章の規則違反に対し適用される。

14. 安全

出場艇は人数分のライフジャケットをそなえていなければならない。

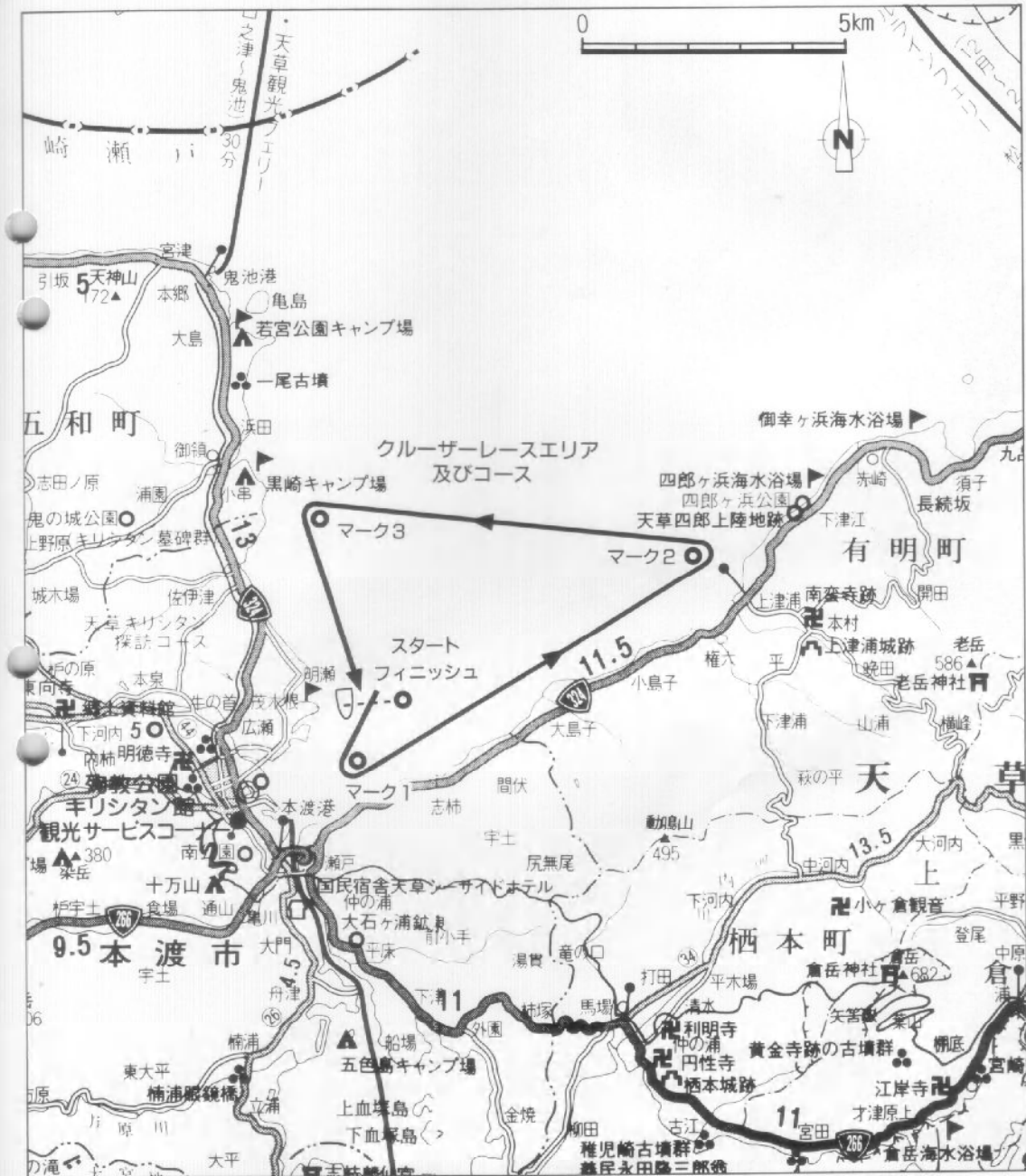
15. レーティング

レーティングはNORC簡易レーティングを参考にし、当レース特別レーティングを採用する。

16. その他

- ①出艇申告は、7月26日(土)18:00より19:00の天草プラザホテル船長会議場で行ない帰着申告はフィニッシュを持ってこれにかえる。
- ②出艇申告のない出場艇は失格とする。
- ③リタイヤする艇は本部船、またはレスキュー艇にリタイヤするおねをすみやかに連絡すること。
- ④参加料は返却致しません。

クルーザー レースエリア及びコース



to Washington D.C. to Los Angeles



7月16日 東京—ロサンゼルス、7月26日 東京—ワシントンD.C.

ノンストップ便、就航。全日空国際定期便を、ご利用ください。

世界へ **ANA** **全日空**

全日空国際線のご予約・お問合せは 東京(03)272-1212 大阪(06)372-1212 名古屋(052)971-5588 福岡(092)474-1212 札幌(011)281-1212